

クラス番号	901	担当教員名	湯原 悦子
テーマ	「人を支援すること」とは何か ―子ども、高齢者、障害者とその家族の事例に学ぶ		

ゼミナール概要

<内 容>

このゼミでは子ども、認知症高齢者、障害者とその家族への支援を学びながら、「人に関わること」「人を支援すること」について深く掘り下げていきます。この学びを通してゼミ生一人ひとりが現代の家庭や地域が抱える問題を理解し、自分なりの問題意識を持ち、課題克服に向けての支援の道筋を考えていける力を養います。

私はこれまで、子ども虐待や高齢者虐待への介入、認知症の人を抱える家族の支援、地域で暮らす人々の権利擁護などに取り組んできました。そのなかで、子ども虐待が生じている家庭に高齢者の介護問題があったり、家庭でたった一人、介護を担っている人に軽度の知的障害が見られたり、要介護者のみならず介護者も支援が必要な状態にあったり、一人暮らし高齢者が悪徳商法にひっかかって財産を奪われたりと、一つの領域を学んでいるだけでは人々の生活を支えることができない状況を多く目にしてきました。このような状況を改善していくためには、いろいろな領域にまたがる様々な知識が必要です。そのため、ゼミでは一つの領域にとどまらず、多様な福祉実践、すなわち子どもや高齢、障害や権利擁護などの領域における問題を幅広く学び、柔軟な思考を身に付けていただけるよう、ゼミ運営を工夫していきたいと思っています。

<方法と授業計画>

前期は皆でテキスト文献（初回ゼミで紹介します）を読み、グループごとに発表レジュメを作成します。クラスではそれに基づきお互いに質問し、話し合いをすることを通じて皆の知識を深めていきます。その際にレジュメの書き方、課題の見出し方、発表の仕方、話し合いの仕方などについて学びます。

後期は子ども、高齢者、障害者など自分自身が最も関心を持つ領域を1つ選択し、グループごとにテーマを設定します。そして、支援の現場へフィールドワークに行き、テーマに基づき何が課題となっているのかを見出し、自分たちが考えるべきことは何かを考察します。

また、ゼミの冒頭には、社会で話題となっている新聞記事を紹介しあい、皆が幅広い視野を持ち、社会への興味関心を深めていけるようサポートを行います。

※ゼミ外の活動になりますが、皆さんが興味関心を持った事柄については、さらに自分なりに深めていくことができるように、地域で行われる参加可能なセミナーやシンポジウム企画なども紹介していこうと考えています。実際にフィールドに出て、人々の関わる問題を自分の目で確かめ、当事者にお話をうかがうことを通じて、皆さんは大きく成長できることでしょう。

自分のなかに湧き上がる興味関心を大事にし、それを明らかにしていくことは本来、とても楽しいことです。ぜひこのゼミを通じて、学ぶ楽しさを体感してくださいね。

担当教員からのメッセージ



これまで専門演習や大学院など、比較的年齢の高い皆さんと学ぶ機会が多かったのですが、今回は若く、元気で、豊かな感性を持つ2年生の演習を担当できることになりました。皆さんとの出会いをととても楽しみにしています。

ゼミでは皆さんが知りたいこと、学びたいことを探し、調べ、考え、語ってみてください。私はこのゼミを通じ、メンバー一人ひとりがイキイキと楽しみながら、それぞれの可能性を伸ばしていけるといいなと思っています。1年間、どうかよろしくお願いします。